広報
さめがわ
昭和61年
12月号
No. 396
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



お母さんお嫁さんに感謝する会の盛況

今では既に鮫川村の名物行事になった「お母さんお嫁さんに感謝する会」は、第39回文化祭行事の中心行事として大変な人気でした。

11月23日、会場の山村開発センターの大集会室は、入りきれないほどのお母さんお嫁さんたちでにぎわい、先づ健康優良児のお子さんとそのお母さんが、最高の栄誉に輝き、小中学校児童生徒の感謝の作文朗読にはみんながホロリとさせられました。

アトラクションの北上智子歌謡ショーも、古殿出身の新進歌手だけに、好評を博しました。

12月1日～25日　村税完納運動推進月間
12月1日～31日　歳末たすけあい運動
12月1日～1月10日　年末年始の交通事故防止県民運動

今月の人口
（12月1日現在）

		前月比
人口	5,496	（＋5）
男	2,718	（－1）
女	2,778	（＋6）
世帯数	1,130	（＋1）

老人介護ご苦労さまと
感謝状贈られる

長い間寝たきり老人の介護に努めた労苦に対し、鈴木静子さん(道少田)と我妻芳江さん(落合)に、日本赤十字社県支部長の松平知事から感謝状が贈られこのほど石田村長から伝達されました。



▲石田村長から感謝状を伝達

福島県きのこ品評会
岡部宏さんが入賞

福島県きのこ祭が一〇月二五日と二六日の両日県林業試験場で行われ、きのこ品評会に出品した本村の岡部宏さん(前沼)が、生しいたけの部できのこ振興協議会長賞を受賞しました。

心あたたまる寄附

亡母の遺志により　三万円
○鮫川村農業協同組合婦人部様
第四回農協祭手づくり品即売
益金　一三、二五二円
(鮫川村社会福祉協議会)

亡父の遺志により　五万円
○官　代　前田　美兄様
○草　牛　斉藤　正光様

おはなのちみ (44)

第39回文化祭をかえりみる

村長　石田卯子八

文化祭を終ると、冬が急ぎ足でやって来るというのが、わが郷土の特性ですが、農家の収穫も済んで満目しょう条たる初冬の装いが展けてきました。

さて、今年の文化祭は第三九回を重ね、古き伝統の美しさに新しい創造を加えて、盛況のうちに終ることができたことは慶びにたえません。日頃の生活の中から生み出された見事な成果を出陳された皆様、会場のお世話に当られた役員の皆様、数多い行事にご参加、ご観覧を頂いた皆様に改めて厚くお礼を申し上げます。

本村独自の行事で第二五回となった「お母さんお嫁さんに感謝する会」は、地方紙のトップ記事で広いスペースを割くなど、例年にない盛況でした。歌謡シヨーを始め多彩な芸能発表の催しは、直接的には慰安行事として行われていますが、一面また芸能文化の進展を期待するもので、新人の発掘、育成にも努めたいものであります。

トレーニングセンターを会場とした展示会場もにぎやかで、特に婦人会の生活工夫展や老人作品展には古い伝統を誇る工芸品に加えて、工夫創作による作品も多く見られ、これからの文化祭の方向を示唆するものと注目されました。

短歌俳句の色紙展、書道展なども著しい水準の向上が見られたようで、わが村の文芸愛好層の裾野が広がって行く感じであります。学童の作品展、幼児作品展も例年人気があり、通信館も一段とにぎやかでした。農業改良推進員コーナーでは注目すべき土壌調査の成果を、土層の変化までよく理解できるよう工夫して展示され、大変よい参考になりました。

歴史民俗資料館はこのような機会に広く多くの方々に、村の文化の移り変りを見て頂くために展示を工夫し、中井恒峯画展も併せて開かれ、多くの観覧者をよびました。中井恒峯画伯の今年の作品には新しい画風のものが話題になりました。

その他の催し、展示など何れも好評を頂き、会期中事故もなく終ることができたことは、誠によろこばしく、ここに重ねてお礼を申し上げる次第であります。

工業統計調査
石油等消費構造統計調査にご協力を



通商産業省では、工業統計調査および石油等消費構造統計調査を毎年12月31日現在で行います。調査の対象となる製造業を営む事業所には、年末年始にかけて調査員が何います。調査票に記入された内容は、統計以外の目的に使われることは決してありませんので、安心してご協力くださるよう、よろしくお願いします。

新しい民生委員決まる



▲石田村長から委嘱状を伝達される民生委員

厚生大臣の委嘱状伝達

任期満了による民生委員の委嘱替えが行われ、一二月一日付で新しい民生委員に決まった次の方々に厚生大臣の委嘱状が伝達されました。

本村の民生委員定数は一六名で内九名が新任、七名の方が再任となりました。

担当地区	氏名	
赤坂西野	鈴木 春吉	新
〃	藤田 一男	新
西山	関根長一郎	新
〃	鈴木 一実	再
赤坂中野	生田目 旭	再
〃	山本 勝治	新
〃	緑川 フク	再
赤坂東野 石井草	宗田 キン	新
〃	中川西建治	新
〃	石井 輝二	新
富田	青戸 アサ	新
〃	鷲野谷 満	再
渡瀬	蛭田 覚	再
〃	小松 保	再
青生野	長井 久男	再
〃	大竹 光壽	新

なお一二月四日に開かれた第一回民生委員協議会で、総務に鷲野谷満さん（一反田）、副総務に鈴木一実さん（鐘撞堂）が選任されました。

畜産の村を象徴する優良牛

第39回鮫川村畜産共進会

第三九回鮫川村畜産共進会が一一月一三日午前九時から村民運動場で開かれ、各大字の予選会で選抜された肉用牛三七頭、乳用牛二三頭が出陳されました。

白河家畜保健衛生所長らが審査員となり、一次審査（個体審査）、第二次審査（比較審査）の結果、肉用牛の部で水野正広さん（大塩）、乳用牛の部で関根英也さん（土路部）の所有牛がグランドチャンピオンに選ばれました。

審査結果は次のとおりです。

【肉用牛の部】◇第一部（生後一二カ月から一六カ月未満）▽優等＝矢吹幸也、▽一等＝柿沼源二、吉成四郎、遠藤稲穂、▽二等＝渡辺作太郎、松本克己、岡部照夫、山本勝治、水野正、蛭田覚、箭内利信

◇第二部（生後一六カ月から二〇カ月未満）▽優等＝蛭田昌一、▽一等＝長井久男、小林秋男、鈴木輝男、▽二等＝宗田貞治、斉藤正光、関根久翁、関根勝義、緑川多気志

◇第三部（生後二〇カ月から二六カ月未満）▽優等＝鈴木長一、▽一等＝青戸彦磨、我妻嘉市、森保、▽二等＝鈴木清孝、岡部文雄、緑川勝美、鈴木好美

◇第四部（経産牛）▽グランドチャンピオン＝水野正広、▽一等＝石井清重郎、阿久津春男、森亨、▽二等＝本郷公市、大森愛保、佐藤一男、山本元次、長久保一進

【乳用牛の部】◇第一部（生後一〇カ月から一八カ月未満）▽優等＝蛭田晃、▽一等＝舟木久、芳賀登、鈴木孝雄、▽二等＝湯坐辰弥、赤坂虎男、小山田清哲、坂本圭司、水野吉三郎、

◇第二部（生後一八カ月から二六カ月未満）▽優等＝関根善徳、▽一等＝関根英也、鈴木孝雄、小山田清哲、▽二等＝関根博幸、鷲野谷敏男、▽舟木久

◇第三部（経産牛）▽グランドチャンピオン＝関根英也、▽一等＝関根博幸、蛭田晃、青戸孝夫、松本哲明、舟木誠也、鷲野谷敏男



▲優秀な牛が出陳された共進会



▲鮫高体育館で行われた表彰式

第39回 文化祭のにぎわい



何といっても中心行事は「お母さんお嫁さんに感謝する会」で、招待されたお母さんお嫁さんで会場は満員。



アトラクションではお隣りの古殿出身の新進歌手北上智子さんが、たっぷりと演歌の数々を聞かせてくれました。



健康な赤ちゃんを産み且つ育てることが一番大事な任務。この日表彰の栄誉に輝いた健康優良児は次の７名でした。

鈴木芳枝（酒垂）、吉田信（芦ノ草）、舟木こずえ（岡田）、佐藤美保（火打石）、関根麗香（余所内）、八代邦明（青生野）、遠藤正也（滝ノ下）、根本勇一（鍛治平）



表彰された健康優良児とお母さん

最後は村の芸能クラブの皆さんの出演で、にぎやかな唄と踊りをたのしみました。





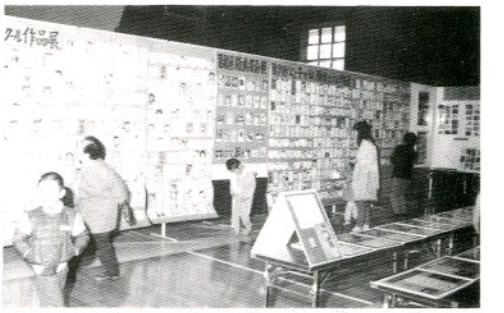
見る人を感嘆させた婦人会の生活工夫展



毎年精進の跡が見られる書道展

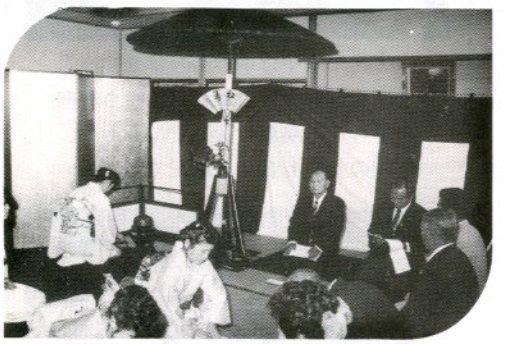


各会場をじっくり見て廻った石田村長



誰もが笑顔になる似顔絵展

文化祭点描



もの静かな日本趣味のお茶会。美しいお嬢さんたちのお手前で、ゆっくりとお茶をたしなみました。



人々の心にうるおいを与えた華道展



いつも人気のカラオケのど自慢大会では渡瀬の山形郁夫さんが最優秀賞。矢吹利津子さん、金沢吉衛さんがそれぞれ優秀賞に輝きました。



伝統工芸がみごとに生かされた老人作品展



1人1人に密度の高い教育 鮫川分校

38年高校教育の灯を消さないで…

県立東白川農商高校鮫川分校は、昭和二三年四月に開校以来三八年間、地域の高等学校として親しまれ、これまでに一、一〇〇人もの卒業生を送り出してきました。

教育施設も、昭和五七年に新校舎が建設され、翌五八年には体育館も完成しました。また、遠距離生徒の通学対策としてスクールバス利用の便宜を図るなど、教育環境の整備充実が進んでおります。

しかし、ここ数年入学生徒数の確保に苦慮しています。

そこで、教育現場に在る鮫川分校の柴田教諭から学校紹介をいただきましたので、地域の高校教育を守るため村民皆様のご理解とご協力をお願いします。

地域の高校を守って

教諭　柴田照高

わが鮫高は、約四年前にここ　舎になりました。新しい校地に移転し、新しい校　村内にある唯一の県立高校ですが、中学校卒業者の減少や、交通機関の発達などの事情で生徒数の確保が困難になっております。

この際、村や同窓会の熱心なご尽力のもと、村から高校を無くしてはならないと、全職員一致団結して頑張っているところです。

生徒は総勢四十七名、職員は十三名で、単純に計算して四人の生徒に一人の職員があたるという態勢になっており、生徒にとって非常に恵まれた環境にあります。

体育館をはじめ、施設設備もすべて揃っており、それらを存分に活用できます。それに、生徒指導も一人一人に目がとどき、きめ細かい教育が可能です。

一人でも多くの生徒がこの学校に学ぶことが、わが鮫高の火を消さないための唯一の条件なのです。村民の皆様のご協力を切にお願いしたいところです。

独立高校扱いで
進学、就職にも有利

進学、就職は本校・分校一緒ではなく、独立高校として取り扱われるため、非常に有利なのです。

今年度は、延べ五百五十社から求人があり総て第一次試験で合格し、就職先は一〇〇%内定しています。

趣向を凝らした演劇や音楽
村内小中学校学習発表会





文化祭集中行事の第一日を飾った学童の学習発表会は、各校とも趣向を凝らした演劇や音楽でにぎわい、参観の父兄も多く大盛況でした。



商工会青年部・婦人部主催の文化講演会、講師は元NHKアナウンサーの大塚利兵衛さん。演題は「今、日本が問われていること」



初めて開かれたライオンズクラブのバザーが人目を引きました。

鮫高の部活動は

県南に鮫高あり!!

テニス部顧問遠藤教諭

県大会六度出場という輝かしい実績を残していった二名の卒業生。現部員七名は、先輩の偉業を糧に日夜練習に励んでいます。目標は「県南に鮫高あり」と称されること。一層精進を続ける覚悟です。

卓球部顧問根本教諭

初心者ばかりで練習を続けていますが、県大会に出場した先輩も多く、質の高い卓球部をめざしています。

軟式野球部監督広瀬教諭

創部三年目の幼い部ですが、新しい伝統をつくり出すために、全員一丸となって頑張っています。有望な新入生を数多く迎え入れ、来季こそは…。

バレー部顧問柴田教諭

今年六月の県総体では、平田分校を、十五対一、十五対八のストレートに破り、白河実業もあと一歩の所まで追いつめました。乞う御期待!!

バドミントン部顧問篠崎教諭

気軽に楽しみたい人にお勧めします。しかし、いつしか真剣になってしまうのはバドミントンの魅力にひきこまれてしまうからです。



▶男子生徒も楽しくお菓子作り

文芸

（文化祭作品より）

短歌

稲繰い終り作業衣の塵はらうどのポケットにも籾粒ひそむ　滝平　円井　モト

文化財古老よりきく言い伝えこれ民俗学と講師説くなり　木之根　赤坂　義郎

関口　藤田　マサ

減反の田は放置され荒れはてて芒の白穂こがらしに摩く　酒垂　石井　カヤ

木の葉散る音を聞きつつ帰り来ぬ夫を独り待つ夜の長さよ　越虫星　武

紅葉の原生林に沿え落つる二見の滝に魅せられて佇つ　折戸　阿久津ミツ

秋庭の彩どるなかにどうだんの冴えたる紅はまなこにしみる　広畑　蛭田のり子

いも煮会子等はしゃぎつつ、野菜など刻みて運ぶ慣れぬ手つきで　新宿　須藤チヨノ

しばらくに訪ね来し母店先に下車する足のよろめきており　鮫川高　松本　光子

夕暮は時の止まるか思いきり別れを告げし川涸れの石　鮫川高　森　美樹

桜貝一つ掌にして歩みきし卒業近き潮騒の道　鮫川高　我妻栄美子

降りしきる小雨の中をとぼとぼと一人歩けば並木の涙　鮫川高　緑川　明美

俳句

反田　小山田清哲

野も山も冬青空にとんで出る　上　高坂　蚯切

訪うごとに墓土あせて空の澄み　二反田　鷺野谷ヨネ

初霜や息はずませてかけゆく子　青生野　吉成　タカ

秋日和ゲート楽しむ顔揃う　滑石　阿久津辰弥

円高は金利値下げに秋深む　反田　矢部　正子

降る雨も恋のごとくに思うかな

景色かすみて落ちる雫よ

色どりのコスモス活けて遠き客　道少田　山本五十鈴

ジンタゆくとき木枯の村きらめく　彦次郎　青戸　テル

もみじ縫う山の湯宿の送迎車　上耕地　近藤　シゲ

紅葉の錦をまとう塔のへつり　鮫川高　舟木　正博

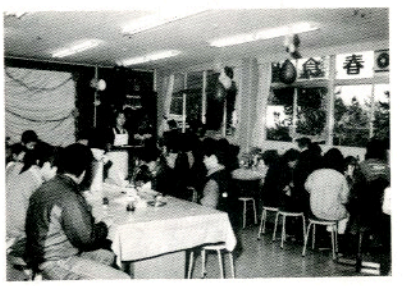
爽やかに青空たたく脱穀音　宿ノ入　田中　義明

酒断ちの自転車かろし冬木道

大成功 山峡祭

文化祭に合わせて開催





鮫川分校の学校祭「山峡（やまかい）祭」は、11月21日～24日の3日間催されました。

3年に1度の学校祭だけに楽しい催し物がいっぱいで、大勢の村民でにぎわいました。

主な必修クラブ

☆文化クラブ
- 文芸読書クラブ
- 囲碁将棋クラブ
- 手芸クラブ

☆運動クラブ
- バレーボールクラブ
- ソフトボールクラブ
- テニスクラブ
- ワープロクラブ
- 園芸クラブ

農委だより

基本農政確立など決議
―県下農業委員大会―

長期展望にたった農業基本政策を確立しよう―をスローガンに第三一回県下農業委員大会が一一月八日、福島市の県文化センターで県内の全農業委員をはじめ、国会議員等関係者二千人が参加して開かれました。

はじめに、鈴木省吾県農業会議会長から「来年以降の水田利用再編次期対策、コメの輸入自由化問題、食管制度の見直しなど課題は多いが、農業の再建、活性化を図るには、二一世紀を展望した基本農政を確立するとともに、国民の食糧を安定的に確保するため、新たな視点に立った農業改革を進めなければならない。県下千八百六〇人の農業委員が、その運動の先頭に立って展開しよう」と挨拶がありました。

次いで知事代理の友田昇副知事と地元の吉田修一福島市長が挨拶し、表彰に移りました。鮫川村農業委員会は今年も全国農業新聞普及優良賞を受賞しました。

議事では、①二一世紀を展望した基本農政の確立について②水田農業確立対策について③昭和六二年度県農林業予算編成について④農業委員会組織の拡充についての四議案について決議しました。

特に「水田農業確立対策」は、当面の最大課題で、目標面積の固定と傾斜配分方式の継続、奨励金の現行水準の確保、農地流動化で拡大する自立経営農家への加算、官民一体となった推進体制の確立などが決議されました。

「県農林予算編成」の中では、農業、農村を守り発展させるため「緑と食糧を守る県民運動の展開」を提唱し、これらを国、県へ強く要請することを決議して終りました。

「緑と食料を守る県民運動」を提言



▲盛況に開催された県下農業委員大会

全国肉用牛経営者懇談会
現地研究会に参加して

青生野　沢口和久

一一月一〇日と一一日の二日間、全国農業会議主催の全国肉用牛経営者懇談会現地研究会に出席しました。

この懇談会は、肉用牛自立経営者及びそれを目指す経営者が集まって自らの経験と情報の交換による相互研さんで共通問題を解消していくことを目的としております。

繁殖、肥育、一貫経営とそれぞれの共通テーマを設定し、現地研究会は年一回開催されます。

第一回現地研究会は、「大量繁殖」をテーマとし、全国から経営者約四〇人が参加しました。

今年の第一日目は、畜産バイオテクノロジー研究でトップレベルの農林水産省福島種畜牧場を視察し、受精卵の移植の実際と今後の実践について高橋場長、鈴木家畜人工妊娠課長さんが説明されました。

高橋場長さんは、「今は肉用牛経営者にとって価格が安定しているのでいい時だからこそ、次の経営戦略をしっかりと練る必要がある。その戦力の一つとしては、FI（交雑種）牛を利用し、FI牛のオスでは増額に結びつかないのでFI牛のメスを繁殖につかう。この繁殖利用は一産取りして肥育にまわすというシステムにしていく。いわば「部分的一貫経営」という形が大事である」と述べられました。FI牛は繁殖能力や強健性にすぐれていて飼いやすいため、経営的に大きなメリットがあります。

第二日目は、農林水産省の高野場長による「自給飼料の活用とサイレージ戦略」と題した講演がありました。講演のなかで「繁殖経営を安定して実施するためには、基本技術（普通免許）と応用技術（第二種免許）が必要である。しかし、実態は無免許の肉用牛農家があまりにも多い。まず、基本技術をしっかりマスターすることが必要である」と話されました。

今回は直接、受精卵移植の技術をみて大変勉強になりました。

公民館だより

体験学習とハイキング

—ふるさと少年教室—

ふるさと少年教室第五回講座は、一一月九日（日）に開催されましたが、講座の内容は「路線バス・水郡線乗車体験と矢祭山ハイキング」でした。

午前八時二〇分までに村内小学校五・六年生二三名の参加者が山村開発センターに集合し、打合せの後、路線バス石川・鮫川線（宝木経由）の役場前発午前八時四四分に乗車しました。車中では、久しぶりに合った他校の友達とはしゃいだり、つもる話をしたりしているうちに石川駅前九時二八分に着きました。下車後、こんどは磐城石川駅発午前九時五五分の水郡線に乗車し、矢祭山駅に午前一一時五分に到着しました。

路線バスと水郡線に初めて乗車した参加者が多く、また、自分で乗車券も購入して貴重な体験をしました。

矢祭山駅からは、徒歩でいよいよハイキングです。最初に水清き「夢想の滝」を見学後、久慈川の川原で石投げをしたり、相撲をとったりしながらの楽しい昼食をとりました。

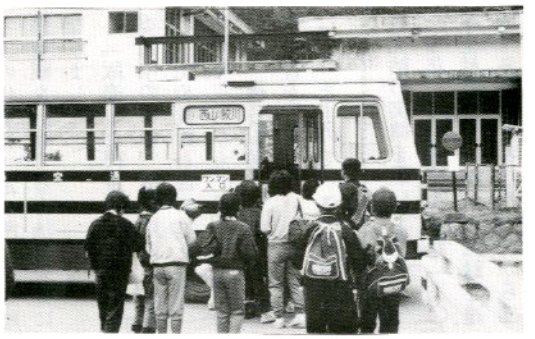
昼食後、落葉をふみしめ、奥久慈の大自然を満喫しながら、急な上り下りのある林間歩道を一時間以上歩き、友情の森に着きました。

友情の森ではフィールドアスレチックに熱中する人、ハイキングの疲れで芝生にすわって雑談をする人、おやつを食べる人などいろいろでした。

矢祭山に別れを惜しみながら、矢祭山駅発午後二時二〇分の水郡線に乗車して、磐城塙駅に午後二時四二分に到着しました。下車後、迎えに来ていた村有バスにゆられ、山村開発センターに午後三時三〇分に無事到着して解散しました。

ハイキングでは大変疲れましたが、貴重な体験と思い出に残る楽しい一日でした。

思い出に残る楽しい一日



▶路線バス石川・鮫川線に乗車



▶友情の森で全員集合

成人病の予防を学ぶ

西山地区の婦人講座



一一月一五日（土）午後二時から西山区集落センターで、西山地区の婦人講座が開催されました。

講座の内容は「成人病とその予防」で、講師に東白川中央病院長深谷久美先生をお迎えし、午後二時から午後三時三〇分まで、スライドを見ながら日頃の健康管理や食生活について学習しました。

午後三時三〇分から午後四時三〇分までは、深谷先生を囲んでいも煮を食べながら、健康についての座談会がなごやかな雰囲気の中で行われました。

心とからだの健康管理を学習

社会学級第七回講座

社会学級第七回講座は、一一月一七日（月）午後二時三〇分から午後四時四〇分まで、山村開発センターを会場に全学級合同で開催されました。

講座の内容は「心とからだの健康管理」で、講師に大阪市に事務所がある人間関係研究所長有吉実先生をお迎えして、講演を聴き大変勉強になりました。



納税だより

こんにゃく所得金額の計算方法が変わります

こんにゃく畑の所得金額の計算は、今まで作付面積を基本として、一〇アール当りの所得標準によって計算されましたが、今年からは、その年に収穫したこんにゃく玉のうち、販売した生玉の代金に一定の所得率で所得金額を計算する方法に変更になりました。

「販売した代金」には、販売委託中のもの、販売用の手持ちの生玉や荒粉も含まれます。

来年二月から三月の所得申告には、後日お送りします収入金明細書を提出していただくことになりますので、この明細書の記入に必要な売上金明細書や、仕切書などを大切に保管しておいてください。

村税完納運動推進月間

30年継続完納にご協力を

本村は、皆さん方のご協力により、過去二九年間継続して全村完納の実績を築いてきました。

今年もこの実績を重ね「三〇年全村完納」の輝しい記録を達成するため、一二月一日から二五日までを「村税完納運動推進月間」と定めましたので、ご協力をお願いします。

おめでた

十月

塩倉　矢吹直哉　父矢吹　武
草木　芳賀有紀子　父芳賀文男
青生野　岡部真武　父岡部忠市

十一月

折戸　阿久津果　父阿久津光市
新宿　鈴木　翔　父鈴木市恵
伊柳沢　根本佳苗　父根本光一

おくやみ

十一月　歳　世帯主

滝　須藤重一　73　須藤美喜男
草牛　齊藤サキ　84　齋藤正光
官代　前田　實　93　前田孝徳
中澤　円谷武雄　77　円谷次男
大戸中　小松丑之助　85　小松　保

共同募金運動

10月1日～12月31日

年末年始特別警戒「我が村火災ゼロ」運動

消防署では、火災のないお正月を迎えていただくため、一二月二〇日から年末年始特別警戒を実施します。

最近、県内で連続放火により、尊い生命までも奪われる悲惨な火災が発生しました。全国で昭和六〇年一年間に起きた火災は、八分四七秒に一件の出火、一日で四億円が〝灰〟になっています。出火原因は「放火」がトップ、次いで「たばこ」が二位となっており、高令者、乳幼児、身障者など弱者の焼死が急増しています。

お年寄りやお子さんは、安全に避難できる所に、また、体の不自由な方を残して、外出しないようにしてください。

家の周囲には、燃えやすい物を置かないなど、放火から我が家を守る工夫も必要です。

火事と救急車は119

棚倉消防署鮫川分署

心配ごと相談

12月22日(月)
午前10時～午後2時
山村開発センター

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
12月14日(日)	薄葉		金沢
21日(日)	大木	中島田	
28日(日)	中央病院	車本	
1月1日(木)	和田	根	
2日(金)	阿部田	厚生病院	
3日(土)	藤田		慈泉堂
4日(日)	勝田	石川	

ゴミの収集日

収集コース	種別	12月	1月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	15.18 22.25	5.8.12.19 22.26.29
	不燃物	26	16.30
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	16.18 23.25	6.8.13.20 22.27.29
	不燃物	26	16.30
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	25	29
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	24	14.28
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	9
官代～橿久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	26	16.30

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

塙セリ市場だより

(61・11・20)

性別	頭数	取引価格 最高	最低	平均	平均体重	平均月令
	頭	千円	千円	千円	kg	月
雌	120	825	147	279	226	9.3
去勢	118	406	149	319	266	9.1
計	238			299	246	9.2

今月の納税　村県民税(4)　納期限　12月25日(木)